

2022年3月期（第25期） 第2四半期 決算説明資料

2021年11月22日

株式会社アイロムグループ



2022年3月期第2四半期 決算概要 (2021年4月1日～2021年9月30日)

アイロムグループ概要

臨床試験実施 医療機関の支援

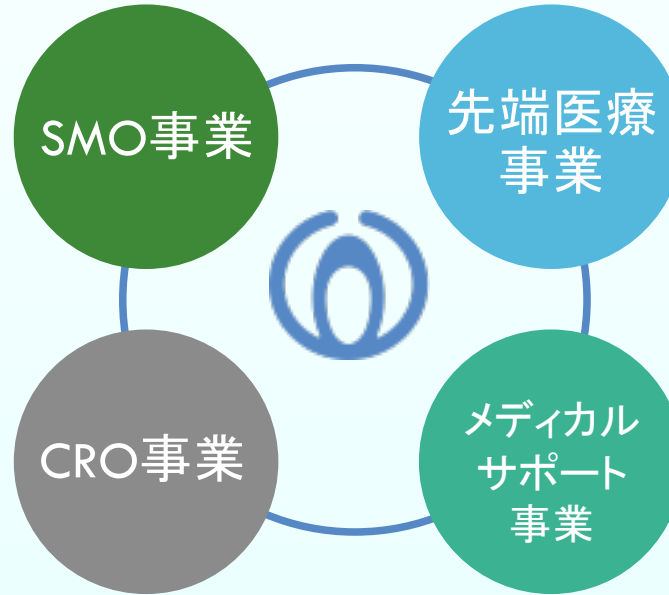
(株)アイロム / (株)アイロムCS
(株)アイロムNA / (株)アイロムEC
(株)アスポ

アカデミア・バイオベンチャー 製薬企業の臨床試験支援

(株)アイクロス
CMAX Clinical Research Pty Ltd
(株)CMAX JAPAN

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	株式会社アイロムグループ
設立	1997年4月9日
本社所在地	東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム
代表取締役社長	森 豊隆
市場	東京証券取引所第一部 (コード: 2372)
資本金	38億78百万円
従業員数	連結: 959名 (準社員含む)



再生医療・遺伝子技術の 研究開発・製造販売

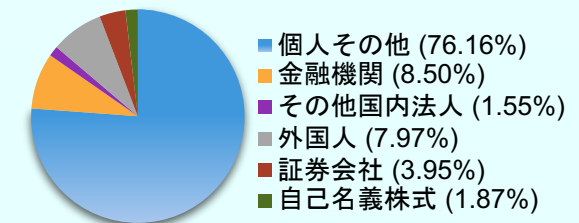
(株)IDファーマ / (株)ICELLEAP
(株)イン

クリニックモールの 開設・運営

(株)アイロムPM

株式の状況

発行済株式の総数	12,306,265株
株主数	13,152名
所有者別株式分布	



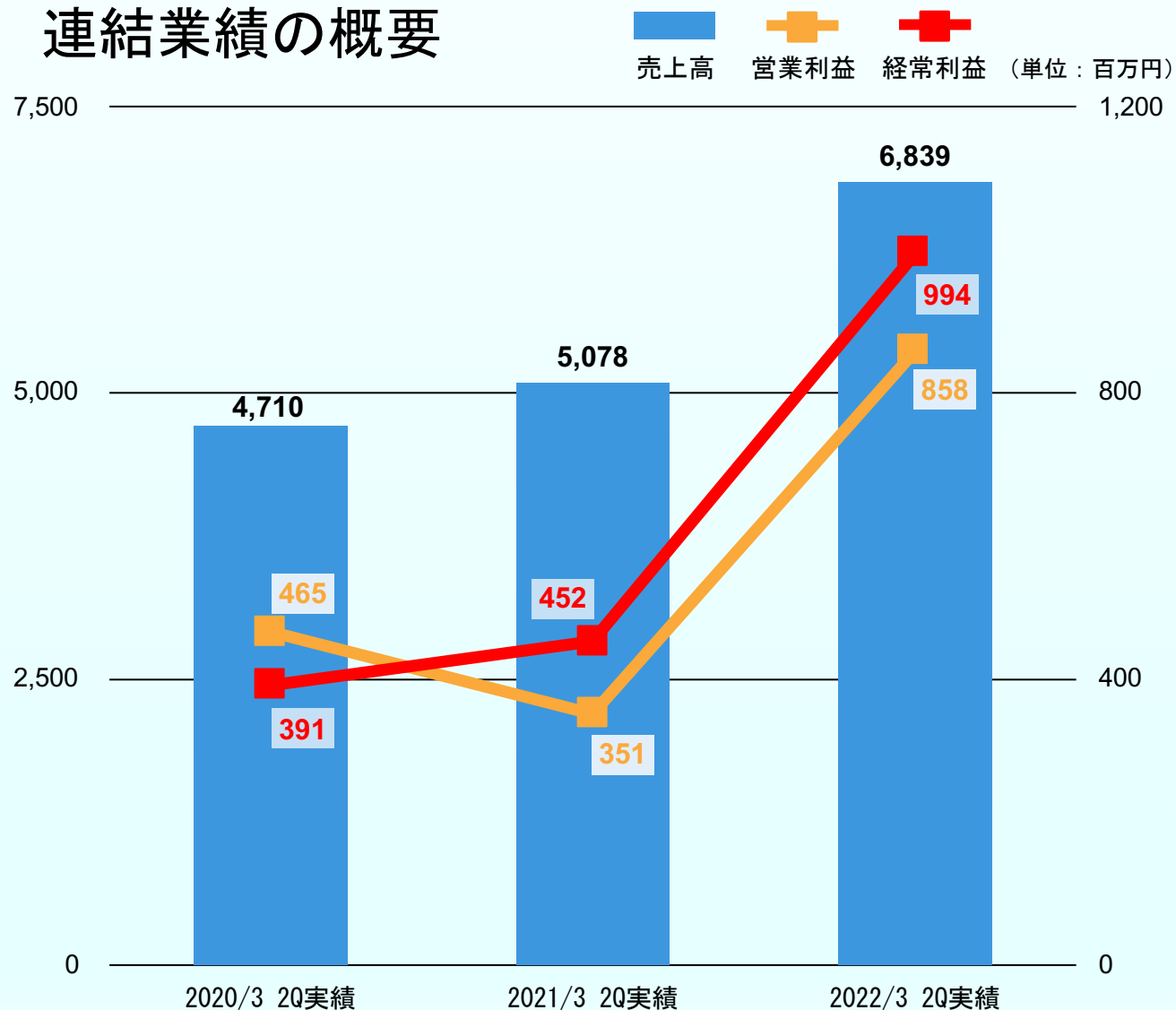
2022年3月期第2四半期 連結業績

	2021年3月期 (第24期) 第2四半期 実績	2022年3月期 (第25期) 第2四半期 実績	前年同期比 増減率
売上高	5,078	6,839	34.7%
営業利益	351	858	144.0%
経常利益	452	994	119.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	319	723	126.5%

単位:百万円

2022年3月期第2四半期 連結業績

連結業績の概要



- SMO事業、CRO事業が堅調に推移し、連結売上高は前年同期比34.7%増の6,839百万円、経常利益は前年同期比119.9%増の994百万円
- 営業利益および経常利益は第2四半期の業績として過去最高益を達成。
- 剰余金の配当を実施
中間配当20円
(期末普通配：20円、計40円を予定)

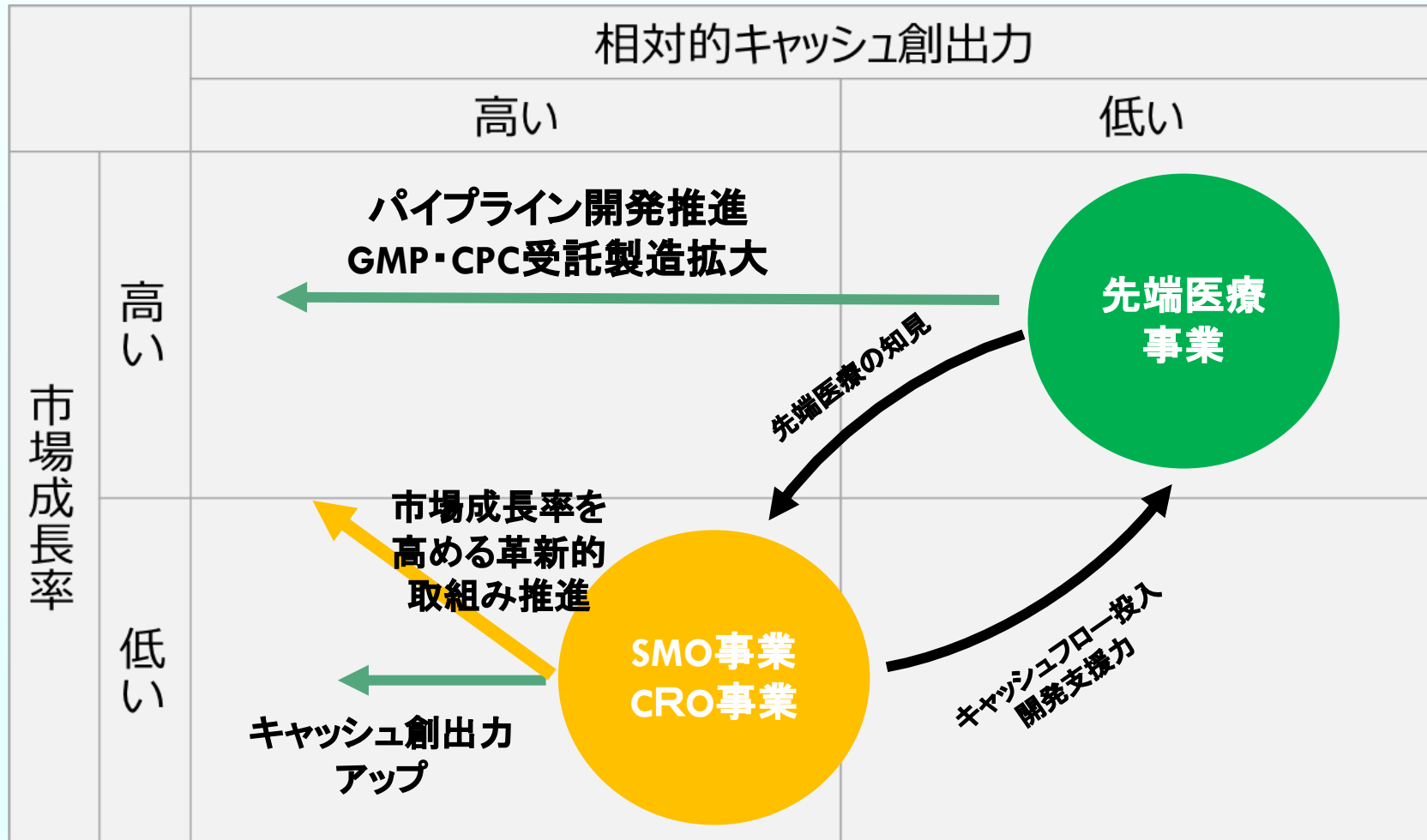
2022年3月期 連結業績計画

	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期比 増減率	
売上高	12,906	15,000	16.2%	
営業利益	1,068	1,500	40.4%	
経常利益	1,352	1,500	10.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,373	1,100	△19.9%	
[セグメント別計画]				
	SMO事業	CRO事業	先端医療事業	メディカル サポート事業
売上高	7,000	4,400	2,200	1,400
営業利益	2,600	1,000	△300	180

単位:百万円

グループ戦略

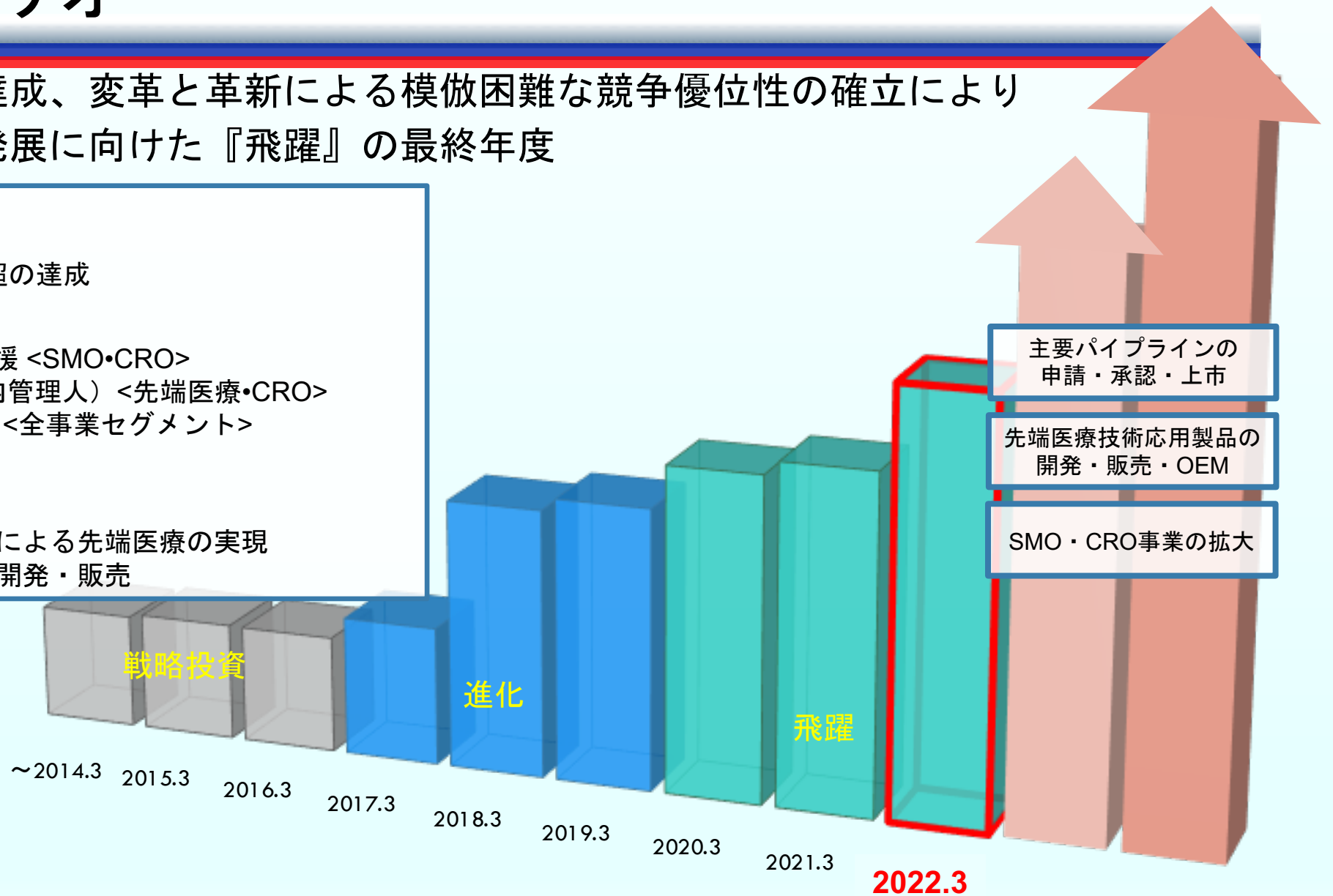
SMO事業・CRO事業で創出される資金を原資に先端医療事業を推進し、グループシナジーを最大化するとともに模倣困難な競争優位性を確立する



成長シナリオ

中期経営計画(※)の達成、変革と革新による模倣困難な競争優位性の確立により
グループの更なる発展に向けた『飛躍』の最終年度

- ✓ 収益性の確保
⇒売上高15,000百万円の達成
五期連続経常利益1,000百万円超の達成
- ✓ 事業間シナジーの顕在化
⇒ハイブリッド型総合臨床開発支援 <SMO・CRO>
先端医療開発のICCC（治験国内管理人）<先端医療・CRO>
自社開発医薬品の開発体制整備 <全事業セグメント>
- ✓ 長期的戦略に向けた準備
⇒海外事業の本格化
センダイウイルスベクター技術による先端医療の実現
先端医療技術を応用した製品の開発・販売



成長シナリオ

変革と革新による模倣困難な競争優位性の確立

主要事業の【変革と革新】

SMO事業

- ・ SMOを発進とする**CRC・CRAハイブリッド型総合臨床開発支援企業**への変革
- ・ 様々な疾患・領域、クリニック・専門病院などあらゆる環境に対応可能な**マルチスタイルCRCの育成**

CRO事業

- ・ **海外事業の本格化**：オーストラリアにおける受託拡大およびSMO事業の開始
- ・ 国内臨床試験実施施設の**患者対象早期臨床試験および大規模試験の実施体制**の構築
- ・ アカデミアやバイオベンチャーを中心とした**再生医療、先端医療開発支援CRO**への変革
- ・ SMO、先端医療事業とのグループシナジーを活かした**総合的な医薬品開発支援**

先端医療事業

- ・ **センダイウイルスベクター技術**による先端医療の開発および**製造販売体制**の構築
- ・ **治験国内管理人（ICCC）サービス**による日本における先端医療開発の促進
- ・ **先端医療技術を応用したオリジナルブランド製品**の開発・販売および**OEM（受託製造）**の推進

メディカルサポート事業

- ・ **グループ各事業の推進サポート**：グループ各社の施設・設備の整備支援等

セグメント別業績及び 各事業の概況

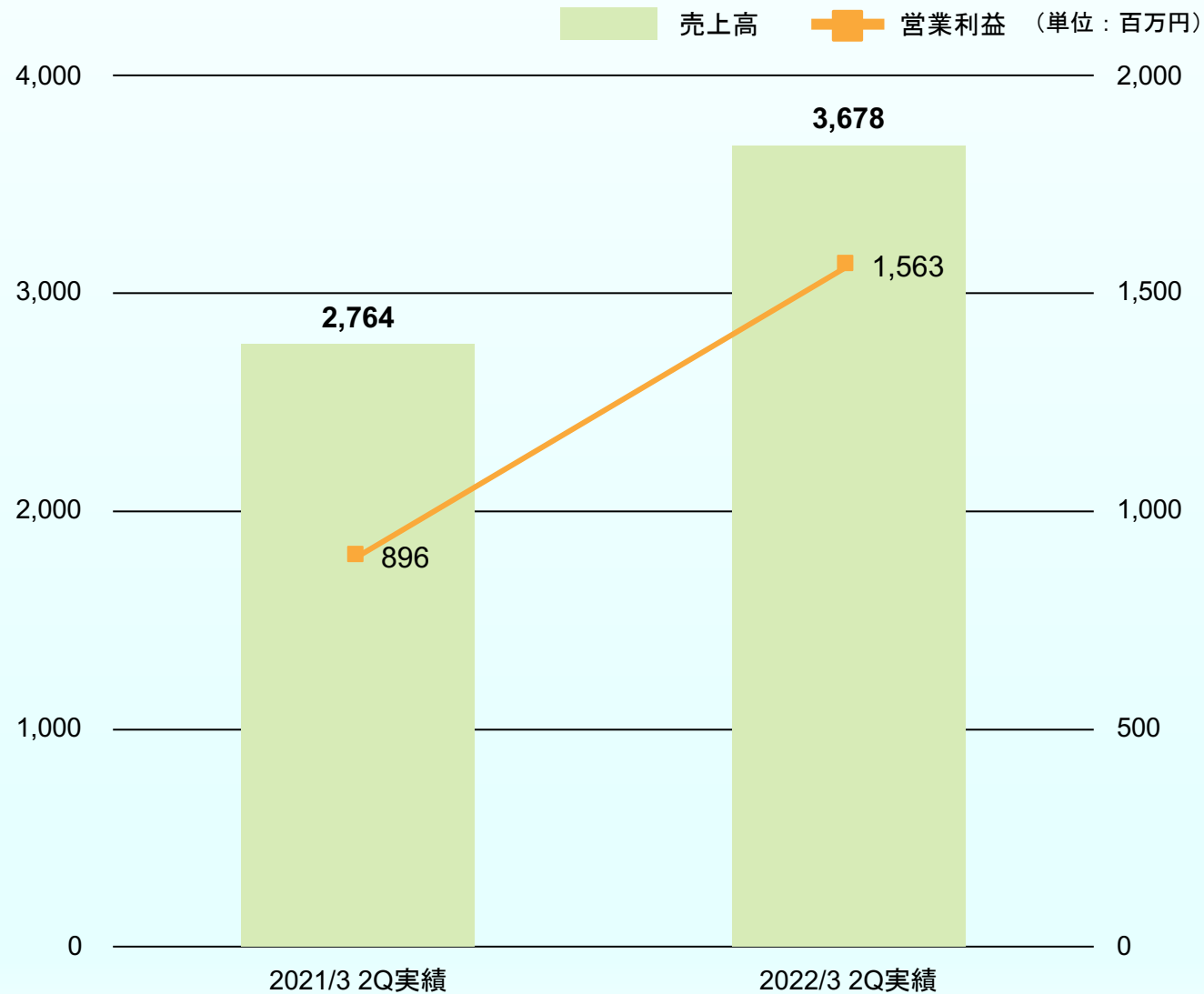
2022年3月期第2四半期

セグメント別業績

	2021年3月期第2四半期実績		2022年3月期第2四半期実績		
	売上高 営業利益	構成比 売上高比	売上高 営業利益	構成比 売上高比	前期比 増減
SMO事業	2,764 896	54.4% 32.4%	3,678 1,563	53.8% 42.5%	33.0% 74.4%
CRO事業	1,406 81	27.7% 5.8%	2,363 240	34.6% 10.2%	68.0% 195.8%
先端医療事業	469 △92	9.2% -	291 △311	4.3% -	- -
メディカルト事業	432 106	8.5% 24.7%	497 123	7.3% 24.9%	15.1% 16.0%
合計	5,078 351	100.0% 6.9%	6,839 858	100.0% 12.5%	34.7% 144.0%

単位:百万円

【SMO事業】セグメント別業績

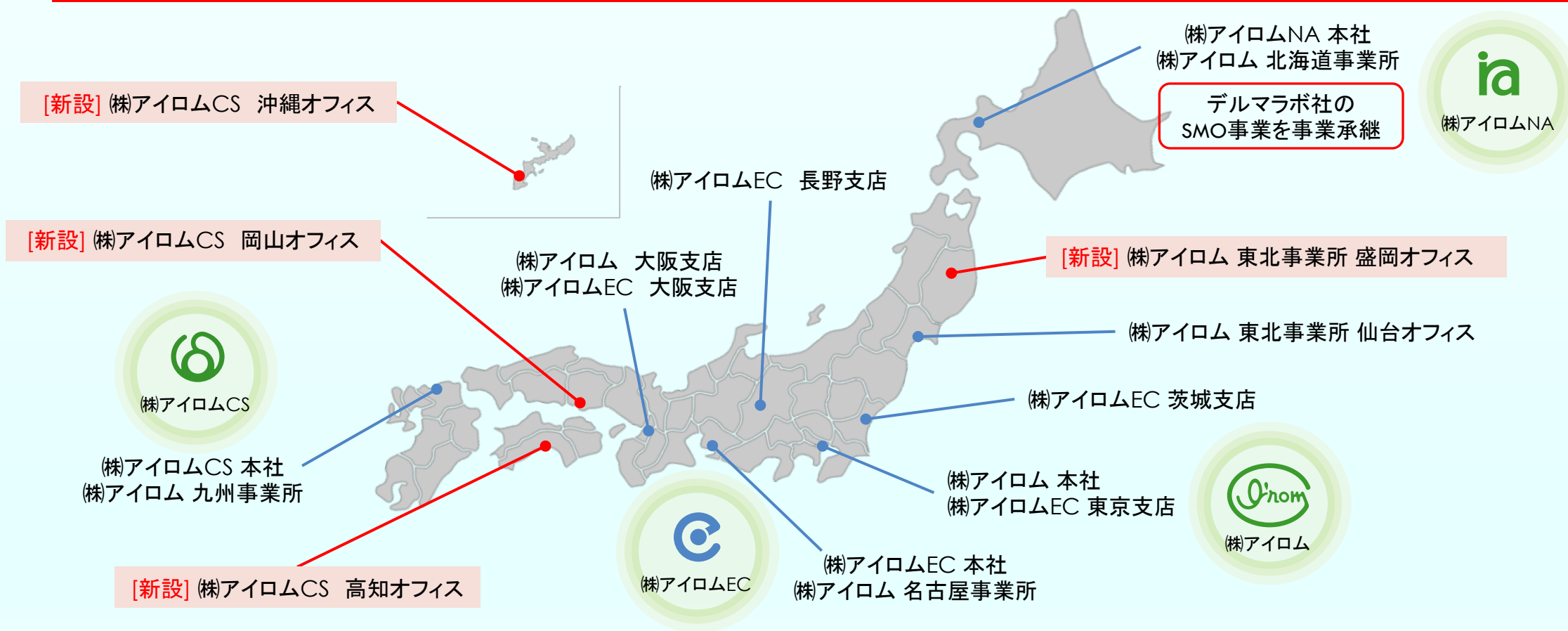


- がんセンターや大学病院等の基幹病院との提携が引き続き拡大し、アンメットメディカルニーズが高い領域への人的資源の投入を促進
- 新規大型案件の受託および前期に受託した大型案件の進捗が順調であったことにより大幅に増収・増益
- 医薬品開発環境のさらなる発展を目指し、ブロックチェーン技術を活用した治験情報統合管理プラットフォーム「aSBo Cloud System」を開発

【SMO事業】 事業の概況

アンメットメディカルニーズが高いがんや難治性疾患の臨床試験が引き続き増加しており、基幹病院との提携拡大を進めるとともに、各エリアの拠点の整備による支援体制の強化と提携医療機関との強固な関係構築を推進

治験ネットワークの拡大と地域基盤の強化

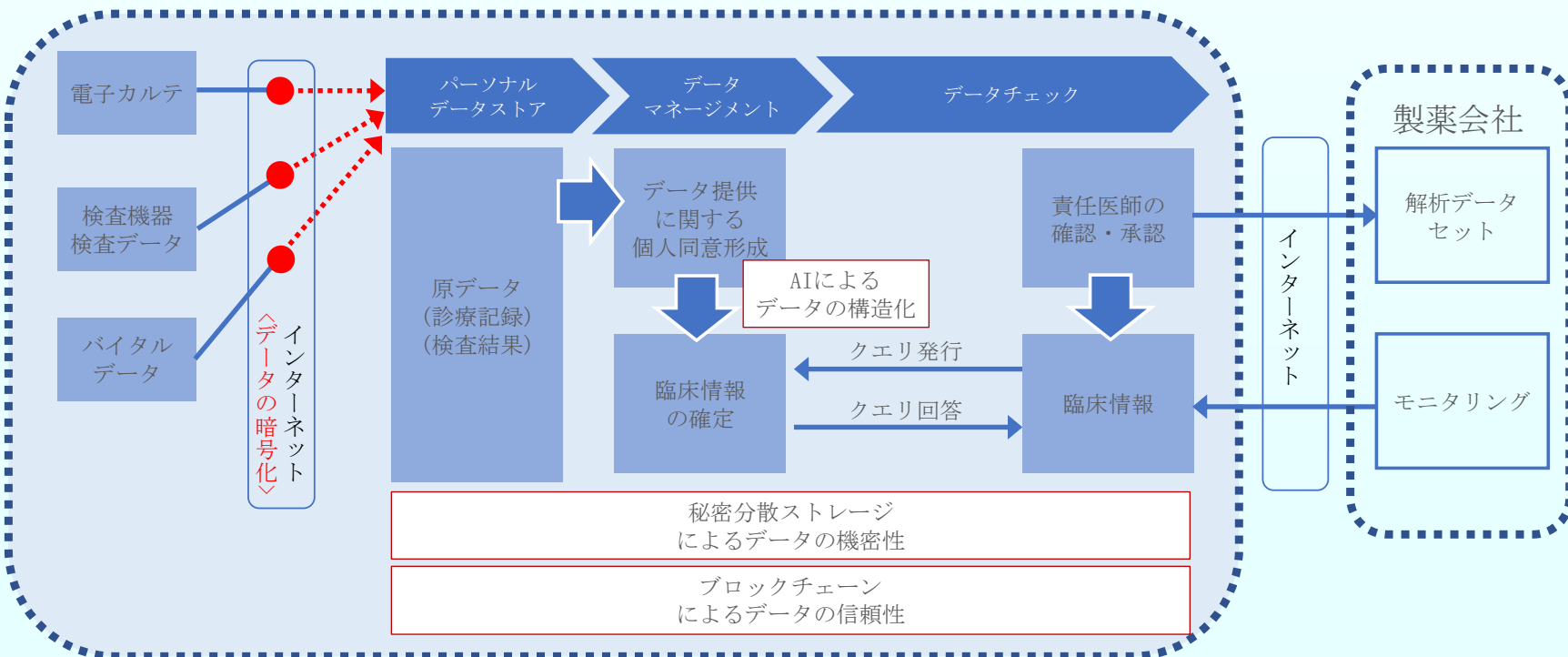


【SMO事業】 事業の概況

医薬品開発の生産性、効率性、透明性を向上させ、医薬品開発環境のさらなる発展を目指した、治験情報を安全かつ効率的に統合管理することができるプラットフォームサービスの開発

治験情報統合管理プラットフォーム「aSBo Cloud System」

<aSBo Cloud Systemによる治験データの統合管理の概要図>

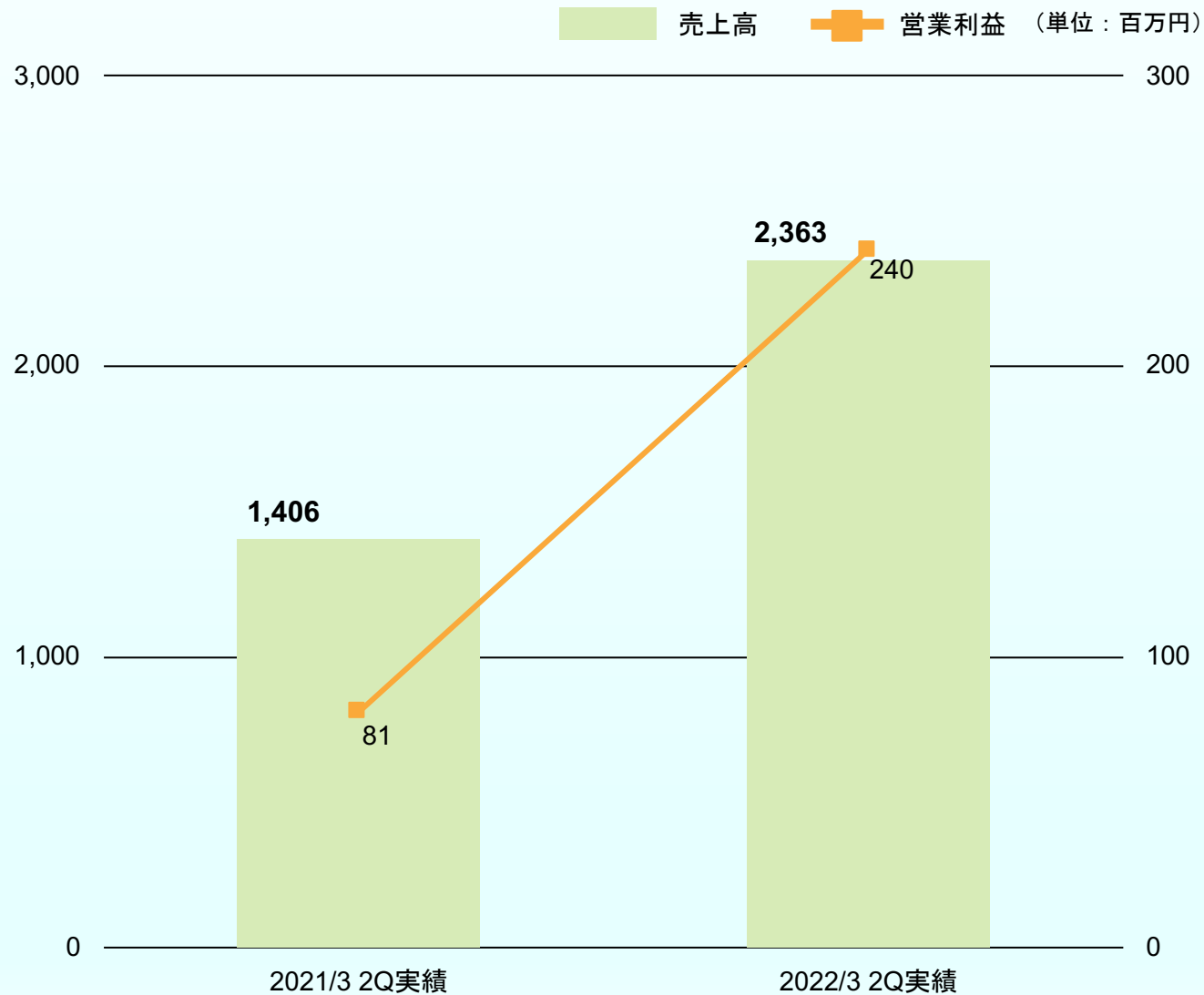


医療機関の役割

aSBo Cloud System 3つの機能

- ① 医療機関の電子カルテ等の院内システムとのデータ連携
- ② 検査機器等からの直接のデータの取り込み
- ③ 被験者(治験に参加する患者)が自己の診療データ等を自分で管理できる仕組み

【CRO事業】セグメント別業績



- オーストラリアの臨床試験実施施設において、引き続き新規臨床試験の受託が堅調に推移し、海外子会社の業績が伸長
- 国内の開発業務支援において、統計解析分野の強みをさらに強化するための体制整備を推進
- 国内の臨床試験実施施設と開発業務受託機関との連携によるワンストップでの臨床試験支援体制の構築を促進

【CRO事業】 事業の概況

早期臨床試験を含めた医薬品開発のフルサポート体制の強化による受託の拡大、アカデミアを中心とした先端医療に特化したCROとしてのポジションの確立により事業拡大を促進する

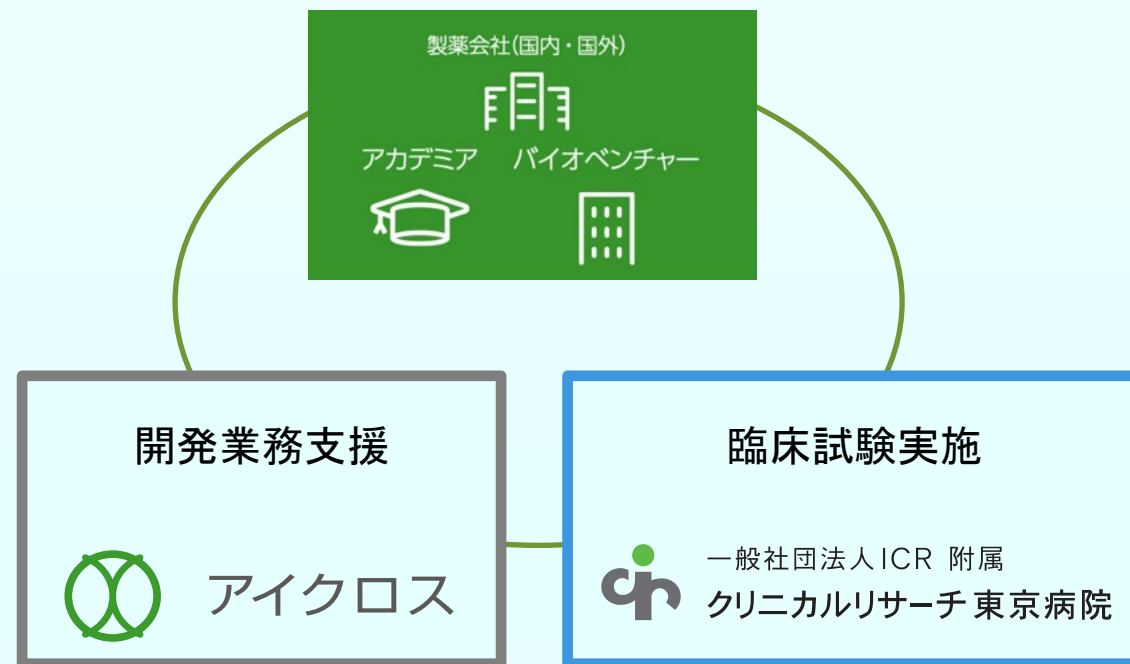
海外事業の本格化

- オーストラリアの臨床試験実施施設において、米国およびアジア地域の製薬企業からの新規試験の受託が引き続き堅調に推移し、業績が伸長
- オーストラリア子会社のガバナンス改革の取り組みとして、香港子会社（愛醫隆有限公司）を海外統括会社としたキャッシュマネジメントを行い、資本コストの低減を推進

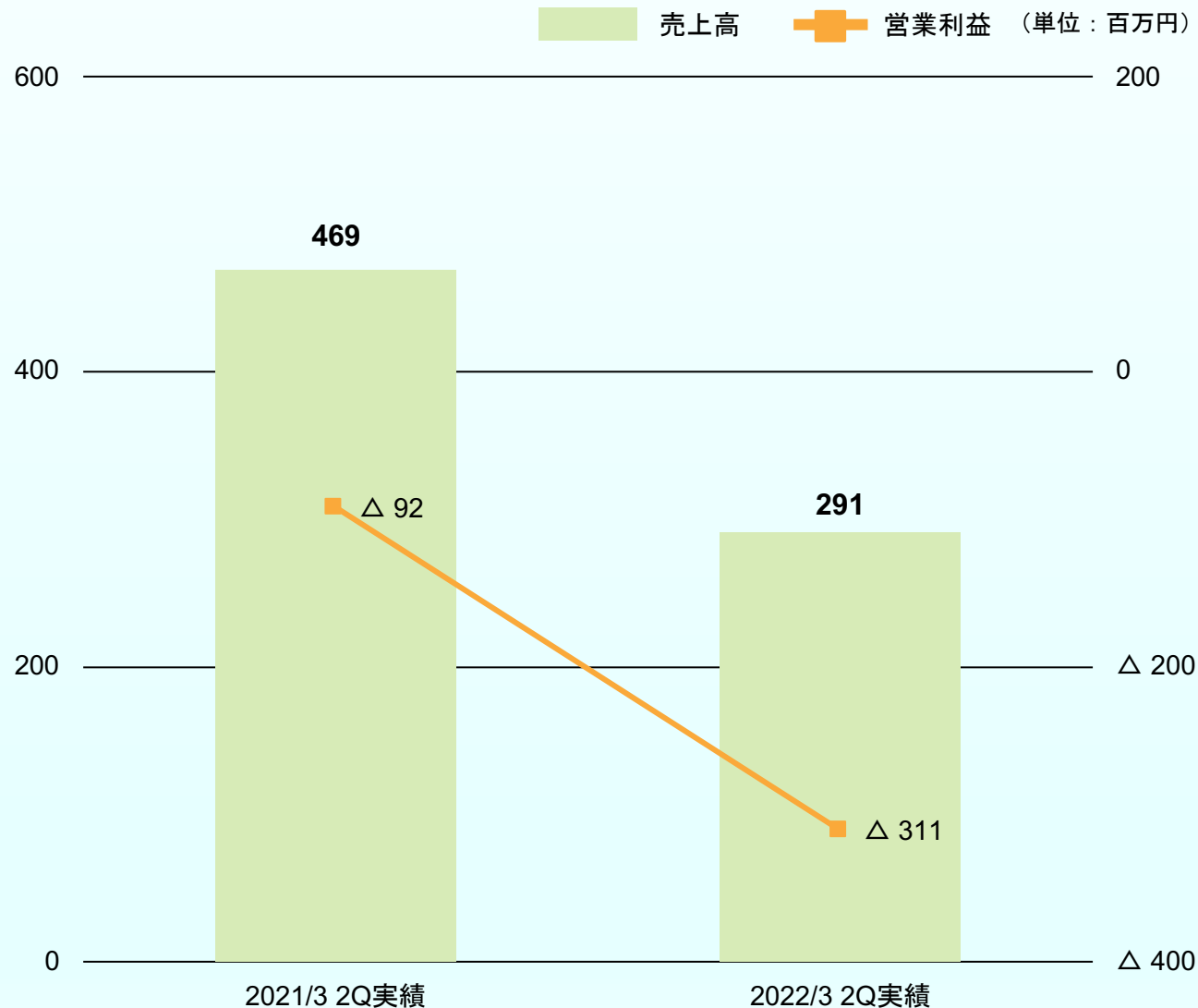
国内CROのシナジー強化

- アイクロス（開発業務支援）と臨床試験実施施設との連携により、臨床試験の実施を含めたワンストップでのフルサポート支援体制を構築

【海外CRO事業の売上推移】



【先端医療事業】セグメント別業績



- COVID-19（新型コロナウイルス感染症）ワクチンの開発において臨床試験の実施に向けたPMDAとの治験相談を開始

PMDA : Pharmaceuticals and Medical Devices Agency
独立行政法人医薬品医療機器総合機構

- 基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた抗結核菌ワクチンや新規ゲノム編集技術の特許権の取得を推進
- iPS細胞培養上清液を化粧品原料に使用した「iPSスーパーネイタントアプリケーション®」の販売を促進するとともに、OEM（受託製造）の受託拡大を推進

OEM : original equipment manufacturer

【先端医療事業】 事業の概況

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に対する新規ワクチン開発において、国内初となる経鼻接種型のウイルスベクターワクチンの実用化を目指し、臨床試験の実施に向けたPMDAとの治験相談を開始

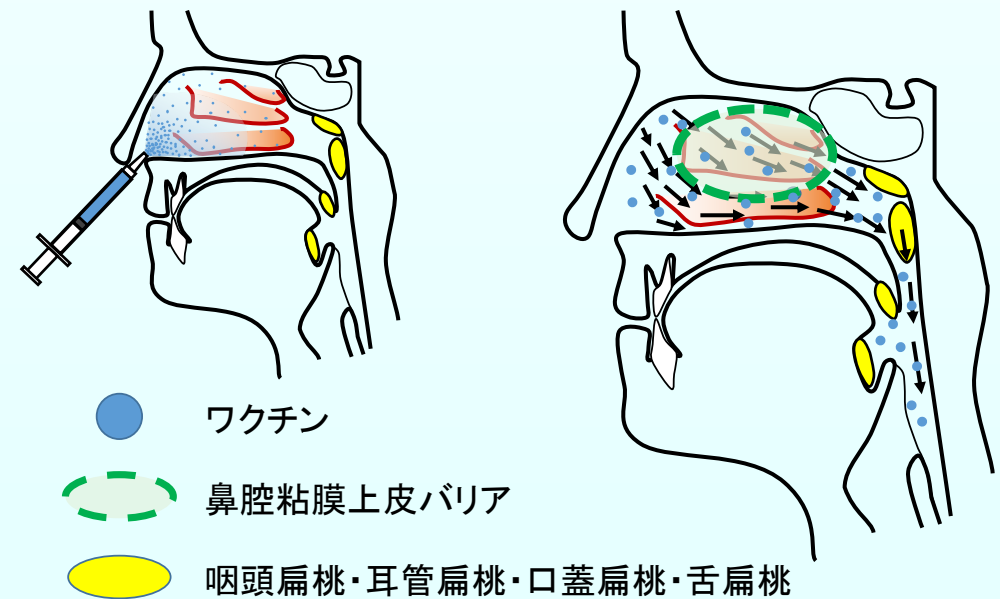
COVID-19ワクチン開発

開発コード	: IRO-203
ワクチンの種類	: ウイルスベクターワクチン (センダイウイルスベクター)
接種方法	: 経鼻
接種用デバイス (医療機器)	: 国内医療機器メーカーが発売予定の 新デバイスを使用
開発状況	: 臨床試験の実施に向けた PMDAとの治験相談を開始
生産体制	: GMPに準拠した 新規ベクター製造施設を建設中 GMP:Good Manufacturing Practice
製造販売体制	: 第一種医薬品製造販売業許可 取得済 第一種医療機器製造販売業許可 取得済 生物由来製品製造管理者 取得済 特定細胞加工物製造許可 取得済 再生医療等製品製造業許可 取得済

＜経鼻接種による免疫誘導のイメージ図＞

①ワクチンを鼻から投与

②鼻咽頭内で免疫を誘導



[Gizurarson, S.: Biol. Pharm. Bull., 38, 497 (2015).
草野等:生物工学, 98, 590(2020). より引用改変]

【先端医療事業】 事業の概況

開発パイプラインの推進に加え、治験国内管理人（ICCC）サービスによる再生医療等製品など先端医療開発の支援により、先端医療の実現に向けて推進

主要パイプラインの開発状況



- 虚血肢治療製剤（DVC1-0101）および網膜色素変性治療製剤（DVC1-0401）のライセンスアウトを推進
- COVID-19ワクチン（IRO-203）の臨床試験実施に向けたPMDAとの治験相談を開始

【先端医療事業】 事業の概況

iPS細胞培養上清液を原料とした化粧品の製品開発など、先端医療の技術を健康や美容に応用することにより、より多くの人々が、より身近に最先端の技術を利用することができるよう研究開発を推進

オリジナル原料(※1)を用いた化粧品等の開発

- iPS細胞培養上清液を原料に使用した
自社ブランド化粧品
「iPSスーパーネイタントアプリケーション®」
の販売を促進
- OEM(※2)による、オリジナル原料を用いた
新製品の企画・開発・製造の受注を推進

※1.オリジナル原料：iPS細胞培養上清液
INCI名：Human Hepatocyte Induced Pluripotent Cell Culture Conditioned Media
(INCI：International Nomenclature of Cosmetic Ingredients 化粧品原料国際命名法)
表示名称：ヒト肝細胞人工多能性細胞順化培養液

※2.OEM：Original Equipment Manufacturing
顧客のオリジナルブランド製品の受託製造

【ICHIKA®】

iPSスーパーネイタントアプリケーション® Premium		
商品	上清液配合率	容量
iPS ブースター	5%/ 10%/ 20%	40mL
iPS美容クリーム	5%/ 10%/ 20%	40g



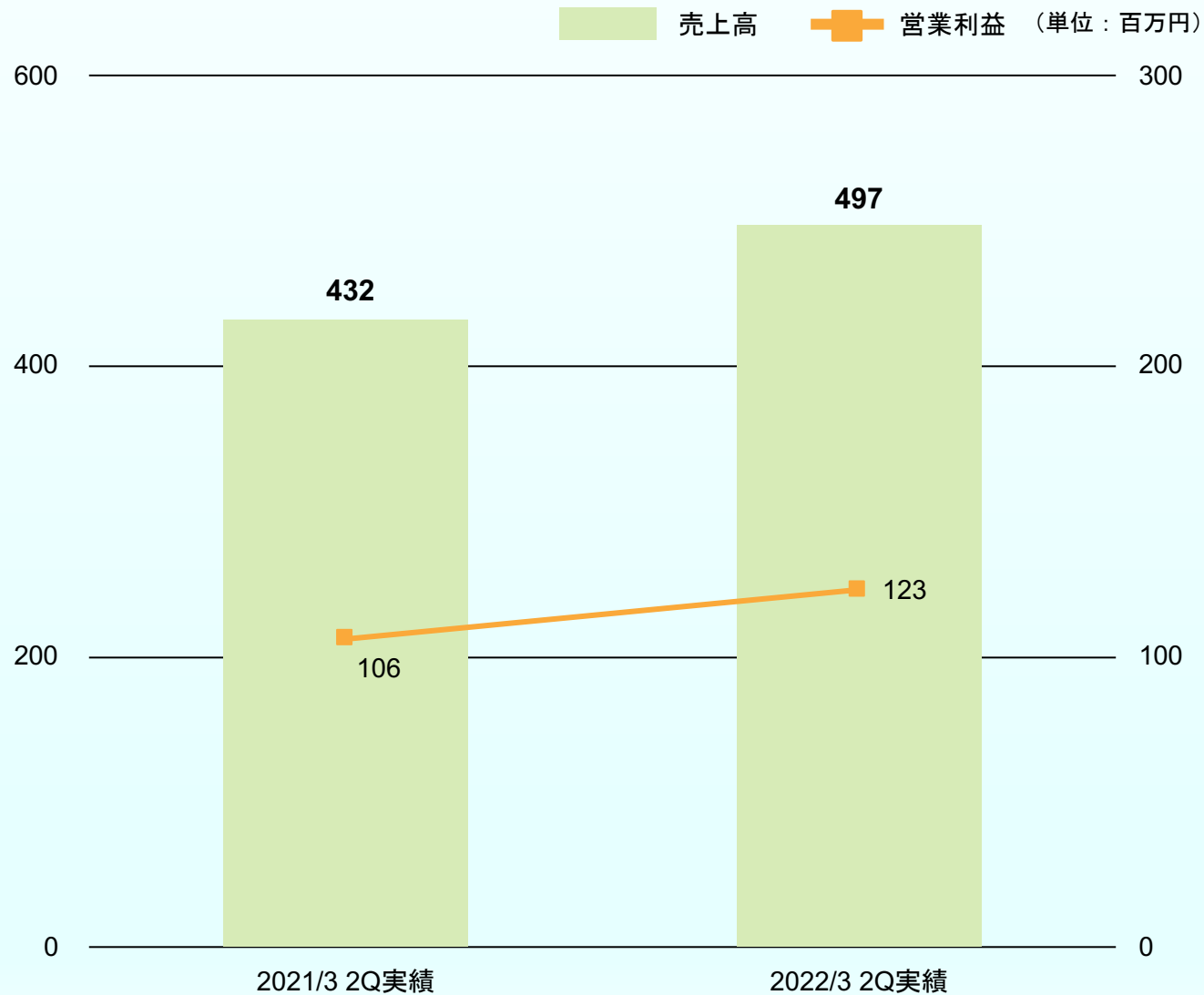
iPSスーパーネイタントアプリケーション®		
商品	上清液配合率	容量
iPS ブースター	3%	30mL
iPS美容クリーム	1%	30g



除菌・保湿シリーズ	
商品	アルコール濃度
除菌・保湿スプレー	77 vol%



【メディカルサポート事業】セグメント別業績



- クリニックモール事業が堅調に推移し、安定した売上高、利益を確保
- COVID-19ワクチンの生産体制整備および先端医療事業の事業拡大のためにGMPに準拠した新規ベクター製造施設の建設を支援
- 沖縄県国頭郡金武町にホテルを建設中 (2021年竣工予定)

【メディカルサポート事業】事業の概況

クリニックモール事業の推進により安定した収益を確保するとともに、運営施設の治験実施医療機関としてのSMO・CROとのシナジーやグループが保有する設備等の管理や整備によりグループ事業の推進をサポート

クリニックモール運営およびグループ事業推進支援

- 医療の進化と時代の変化に合わせた施設運営の推進
- 先端医療事業のワクチン新製造施設建設の支援

【運営施設】

名称	開設年	所在地	診療科目
大井町駅前クリニックモール	2001年	東京都品川区東大井	循環器内科・内科・皮膚科・婦人科・眼科・歯科・薬局
品川イーストワンタワークリニックモール	2003年	東京都港区港南	内科・脳神経外科・眼科・歯科・皮膚科・形成外科・薬局
クリニックモールネームス横浜元町	2005年	神奈川県横浜市中区	内科・眼科・歯科・婦人科・整形外科・薬局
秋葉原UDXクリニックモール	2006年	東京都千代田区外神田	歯科・薬局
公園都市プラザクリニックモール	2006年	千葉県八千代市緑が丘	内科・人工透析
汐留ビルディングクリニックモール	2008年	東京都港区海岸	内科・整形外科・人間ドック・眼科・歯科・薬局
CIALPLAT東神奈川クリニックモール	2010年	神奈川県横浜市神奈川区	内科・皮膚科・メンタルクリニック・歯科・薬局
飯田橋グランブルームクリニックモール	2014年	東京都千代田区富士見	小児科・内科・皮膚科
東京アスポクリニック	2020年	東京都中央区京橋	内科・腎臓内科・循環器内科・整形外科・婦人科・ワクチン外来

資料取扱い上の注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点での入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接又は間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

【IR問い合わせ先】
株式会社アイロムグループ
社長室：小島・竹内
TEL：03-3264-3148